



パン生地とパン種

No. 14

週報

2026年7月5日

(三位一体後第五主日礼拝)

日本基督教団 神戸聖愛教会

教会創立 1882年3月1日 (今年は教会創立144年)

牧師 小栗 献

〒651-0092 神戸市中央区生田町 1-1-27

☎ 078-221-7547 <https://www.kobeseiai.org/>



総主題 「喜びに生きる」

“神に従う人は誇らかに喜び祝い、御前に喜び祝って楽しむ”（詩編 68 編 4）
みんなの教会になる 楽しい教会になる 新しい教会になる

天の国はパン種に似ている。女がこれを取って三サトンの粉に混ぜると、やがて全体が膨れる。

主日礼拝順序

(三位一体後第五主日礼拝)

2026年7月5日

午前10時半

司式・小栗牧師
奏楽・梅嶋法子

前奏		
招きの言葉	マタイによる福音書 13 章 33	司式者
賛美歌	472 「朝ごとに主は」	一同起立
罪の告白	週報 4 面・スライド	〃
賛美歌	32 「キリエ」	
祈禱		野田執事
聖書朗読	ガラテヤの信徒への手紙 5 章 2-11 (新 349 頁)	〃
賛美歌	39-6 「ハレルヤ」	
聖書朗読	マルコによる福音書 8 章 14-21 (新 76 頁)	〃
音楽		
説教	愛の実践を伴う信仰こそ —— 沈黙 (御言を思いめぐらす時) ——	小栗献牧師
賛美歌	502 「光のある間に」	一同起立
主の晩餐	(教会の契約・83 「聖なるかな」・主の祈り・81 「主の食卓を囲み」)	
とりなしの祈り		〃
賛美歌	88 「心に愛を」	〃
祝福		小栗献牧師
後奏		

(健康のご都合によっては、着席のまま礼拝に参加してください)

※ 賛美歌、使徒信条は『讃美歌 21』交読は交読詩編です

◎本日の礼拝当番 (司式) 小栗牧師 (野田執事) (礼拝) 3 グループ
次週 (司式) 梅嶋執事 (奏楽) 井筒知子
(礼拝) 4 グループ

[集 会]

○7月5日(日) 三位一体後第5主日礼拝 [10時半]

礼拝後： 定例役員会・執事会 14時／神戸中央合唱団

7日(火) 業者清掃 11時半／リハーサル(礼拝堂)

8日(水) 10時／YWCA 保育園 12時／コロコロリート 19時／KGV (1階)

9日(木) 10時半／木曜礼拝 12時／聖愛善隣カフェ(北館) 18時／神戸中央合唱団

10日(金) 10時／リハーサル(礼拝堂) 13時／レッスン(1階) 18時／ジョワン(1階)

11日(土) 9時／コンサート(礼拝堂) 10時／KGV(4階)

○7月12日(日) 三位一体後第6主日礼拝 [10時半] FNH12 礼拝交流

説教「神の家で」古澤百代牧師(神戸東部教会) 招き：イザヤ書2章3

聖書：テモテへの手紙一3章14-16

賛美歌：393、25、409、90^{1,4}

礼拝後：各信徒会(女性会なし)、15時半／神戸地区懇談会(神戸イエス団教会)

[消 息]

[報 告]

○初めて礼拝にご出席の皆様、心から歓迎いたします。階下にお茶の用意がありますのでお気軽にお立ち寄りください。牧師にお話のある方はご遠慮なく声をおかけください。

○来週の礼拝はFNH12の礼拝交流です。神戸東部教会の古澤百代牧師が説教を担当されます。小栗牧師は東部教会の礼拝説教を担当します。

○7月より暑い期間、会堂の献花は教会で育てている観葉植物を使いますのでご了承くださいますようお願いいたします。(お花グループ)

◇今週の記念日

誕生日：

召天日：中村 ^{さと}里、田中 ^{さかえ}栄、谷口 ^{みつお}光郎、山崎 ^{やまさきただお}紀男、水野和子、安藤 ^{いそきち}のえ、磯辺 ^{いそきち}磯吉

(来週) 安田 友三郎、本吉邦子、浦部泰子、上田雪子、松下 利三郎、三田村 新七、梅嶋 恵、保持 操、村井 紳、妹尾ふく、松村 恵

◇今月の執事・山崎執事・松村執事

◇先週の記録・礼拝出席 67 名 献金 63,100 円。木曜礼拝出席 8 名。

2026 年度 夏期特別感謝献金のお願い

中東情勢の悪化による様々な影響が世界に広がっていますが、私たちは、主による平和を願い、常に主に望みをおいて、み言葉を世に伝えていく器でありたいと願います。

どうか宣教の業のためにお献げくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

献金目標額 65万円(昨年目標70万、実績67万)

期 間 2026年 7月～9月末まで

執事会一同、財務部

◇ 罪の告白 ◇

<あいさつ>

司式者) 父と子と聖霊の名によって

会 衆) アーメン

司式者) 私たちの助けは

会 衆) 天地を作られた主のみ名にある。

<罪の告白>

司式者) 神の御前では隠れた被造物は一つもなく、すべてのものが神の目には裸であり、さらけ出されているのです。この神に対して、わたしたちは自分のことを申し述べねばなりません。…だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。

(ヘブライ人への手紙4章13.16)

司式者) 私たちは神の御前に、まごごろをもって近づき、罪をざんげし、主イエス・キリストのみ名によってゆるしを願いましょう。

会 衆) 憐れみに富みたもう神よ、私たちは罪のとりこであり、みずからその縄目を解くことができません。私たちは思いと言葉と行いと怠（おこた）りにおいて罪を犯しました。語るべき時に語らず、心からあなたを愛さず、自分自身を愛するように隣人を愛しませんでした。いま私たちはみ前に罪をざんげし、父なる神の限りないあわれみによりたのみます。

(沈黙)

司式者) 全能の神がわたしたちを憐れみ、罪をゆるし、永遠のいのちに導いてくださいますように。

会 衆) アーメン